



社会福祉法人^{恩賜財団}済生会支部

済生会長崎病院

初期臨床研修プログラム



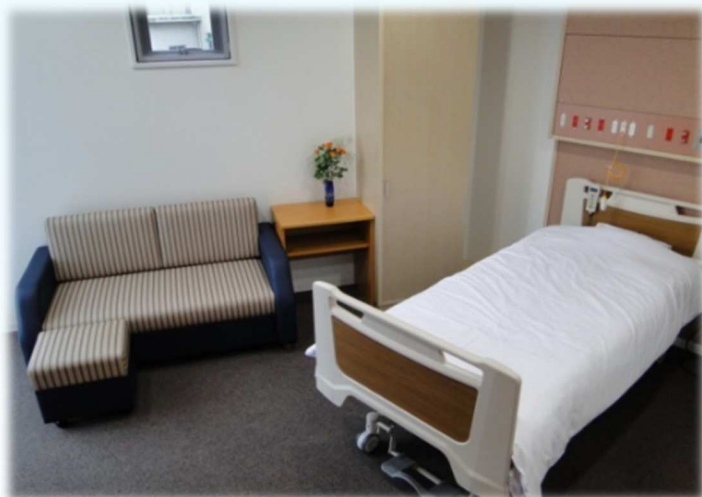
2025年4月



一人ひとりに、最高の学びを！



マンツーマン指導で
成長を加速させる研修プログラム



病 院 名 社会福祉法人^{恩賜財団} 済生会支部 済生会長崎病院

所 在 地 〒850-0003 長崎県長崎市片淵2丁目5番1号

開 設 日 昭和13年9月10日

開 設 者 野川 辰彦 （社会福祉法人^{恩賜財団} 済生会支部 長崎県済生会）

院 長 衛藤 正雄

病 床 数 205床 （一般病床・地域包括ケア病棟）

看護 基準 7対1 入院基本料

主な 指定 地域医療支援病院
災害拠点病院（地域災害医療センター）
臨床研修病院
DMAT指定病院
二次救急医療病院群輪番制病院
無料低額診療事業実施医療機関
病院機能評価認定病院（3rdG:Ver.3.0）

診療 科目 内科、脳神経外科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科、産婦人科、
リハビリテーション科、放射線科、放射線診断科、呼吸器内科、循環器内科、
消化器内科、麻酔科、消化器外科、糖尿病内科、代謝内科、内分泌内科、
腎臓内科、人工透析内科、大腸外科、皮膚科、救急科、病理診断科、
耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リウマチ科

主要設備

手 術 室 4室・麻酔機器

検査 機器 睡眠時無呼吸検査機器、超音波検査機器、脳波検査機器、肺機能検査
機器、血液ガス検査機器、心臓監視装置、眼底カメラ、心肺運動負荷検査
装置、トレッドミル、ホルター心電図解析装置

透析 装置 人工透析装置 14台

放射線機器 デジタルX線撮影装置、MDCT、MRI、多目的デジタルX線透視装置、
マンモグラフィ、外科用イメージ、ポータブル撮影

内視鏡機器 食道鏡、胃カメラ、十二指腸カメラ、大腸カメラ、気管支鏡

血管造影機器 心臓カテーテル治療機器、脳血管造影治療機器

泌尿器科機器 レーザー治療装置、尿器科専用超音波検査装置、空気圧衝撃結石破碎
装置、尿流量測定装置、内視鏡一式《膀胱電子スコープ・硬性膀胱鏡・
軟性尿管鏡・硬性尿管鏡・硬性腎盂鏡・レーザー膀胱鏡・尿道切開刀》

理 念

済生の精神をもって、心のこもった医療を実践する

基本方針

- 1 地域に密着した急性期病院**
- 2 救急医療を推進する病院**
- 3 医療人の育成に力を入れる病院**
- 4 職員の成長と活力を大切にする病院**
- 5 最高品質を求めて変革していく病院**



済生会の由来

済生会は、1911年から医療・保健・福祉を総合して提供する日本最大の社会福祉法人です。

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療し、済生の道を弘めるようにとの済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日恩賜財団済生会を創立しました。

政治・経済・社会情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、済生会は創立の精神を引き継いで健康・保健・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできました。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人恩賜財団済生会となっています。

研修プログラムの特色

少人数だからできる
手厚い指導体制

ローテート診療科に1名の研修医とすることで、充実した研修を送ることが可能です

一次・二次救急症例
の充実と専門医からの
指導体制

二次救急輪番病院として、
長崎市内で救急車の受入件数は
トップクラスです

コメディカルとの連携が
しやすく、チーム医療の
実践を学べる

カンファレンスや院内イベント等で
多くの職種と関わる機会があり、
コミュニケーションが取りやすい

臨床研修の目標

良心と思いやりを高め、病める人の心と体を癒すことができるよう、医学の技と心を身体と心で学ぶプライマリ・ケアが出来る医師の育成、連携が取れる医師の育成を目指す

研修プログラムの管理運営

済生会長崎病院臨床研修管理委員会にて研修プログラムの管理、研修計画の実施、研修医の指導・管理および評価、指導医の評価、研修プログラムの評価、研修医の公募、研修病院間の調整など本プログラムを運営していく全てに責任をもつ

臨床研修プログラム名称

済生会長崎病院臨床研修プログラム

臨床研修プログラム番号

031101202

研修プログラム責任者

氏名：金子 賢一（かねこ けんいち）

役職：耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 兼 臨床研修教育センター長

指導医講習会などの受講歴：

平成21年度長崎大学病院群臨床研修指導医講習会修了
令和4年度プログラム責任者養成講習会修了

病院構成および実施責任者

基幹型研修病院	済生会長崎病院	金子 賢一
---------	---------	-------

研修協力施設	長崎大学病院	濱田 久之（教授）
--------	--------	-----------

	平戸市民病院	中桶 了太（副院長）
--	--------	------------

	長崎原爆諫早病院	福島 喜代康（院長）
--	----------	------------

研修ローテーションの概要

< 1 年次 >



必須科目

内科：24週（済生会長崎）

救急：12週（済生会長崎4～12週、4～8週を長崎大学救命センターにて研修可）

外科：4週（済生会長崎）

産婦人科：4週（済生会長崎・長崎大学）

精神科：4週（長崎大学）

一般外来：4週以上（診療科：内科、外科にて並行研修）

< 2 年次 >



必須科目

小児科：4週（済生会長崎）

地域医療：4週（平戸市民・長崎原爆諫早）原則2年次にて在宅医療研修も行う

一般外来：4週以上（診療科：小児科、地域医療にて並行研修）

選択科目

- ・平戸市民病院：全診療科より選択可能（地域医療）
- ・長崎原爆諫早病院：全診療科より選択可能（地域医療）
- ・済生会長崎病院：内科、救急、麻酔科、産婦人科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉頭科・頭頸部外科、放射線科
- ・長崎大学病院：内科全般、外科系全般、救急、麻酔科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉頭科・頭頸部外科、泌尿器科、形成外科、放射線科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、精神科

研修医の処遇について

2025年4月より

雇用形態：正規職員

給 与：月 給

	1 年次	2 年次
基本給	400,000円	420,000円
研修医手当	50,000円	70,000円
住宅手当	上限 30,000円	
処遇改善手当	5,000円	
通勤手当	上限 30,000円	
時間外手当	時間外勤務実績に応じて	

モデルケース：1年次研修医、一人暮らし賃貸、路面電車通勤）

基 本 給：400,000円 研修医手当：50,000円 住宅手当：30,000円（家賃6万円の場合）

通勤手当：5,429円（*路面電車の場合） 処遇改善手当：5,000円

時間外手当：51,395円（平日輪番当直2回13:30分と仮定）

合計支給：**591,824円**

賞 与：あり 夏期（6月）及び冬期（12月）に基本給1ヵ月分を支給

休 日：土・日・祝日

休 暇：有給休暇（1年次、2年次 各20日）特別休暇：（1年次、2年次 各4日）

勤務時間：8:30～17:15（50分休憩） 時間外勤務：有 休日時間外：有

当 直：原則輪番日のみ（夜勤扱い）

社会保険：協会けんぽ／厚生年金／雇用保険／労働者災害保険

医師賠償：病院加入 個人加入は任意

研修活動：学会・研究会等への参加可能 費用負担：有（年間10万円を上限）

宿 舎：あり 敷金礼金なし・8～10畳・1K

（寮費：29,000～33,000円／月、光熱費は別）

そ の 他：院内託児所完備（夜間帯対応あり）

診療科 研修目標

内科

〔指導医〕

◎芦澤 潔人
夫津木 要二、中田 智夫
中島 宗敏、原田 陽介、
森 篤史、内田 信二郎、
小笹 睦、早野 元信

◎は責任者

全身を系統立てて診察する能力と全人的に医療を実践することが目的である。特に日常よく遭遇する、内科的疾患を経験しながら重要な疾患を中心に、疾病に対する内科的な問題解決手法を理解する。また、これだけは知っておいてほしい必要最小限の検査法及び内科疾患の救急処置を修得する。

小児科

〔指導医〕

◎本川 未都里
松尾 祐子、石井 佑佳子

◎は責任者

小児科及び小児科医の役割を理解し、下記の小児医療を適切に行うために必要な基礎知識・技能・態度を修得する。

- (1) 小児の特性を学ぶ
- (2) 小児の診療の特性を学ぶ
- (3) 小児期の疾患の特性を学ぶ

外科

〔指導医〕

◎田中 賢治
小松 英明、白石 斗士雄

◎は責任者

外科的疾患の手術適応の決定、周術期管理、術前術後合併症に対する適切な判断と処置ができるようになること、さらに、外科的な基本手技及び基本的な知識を修得することを目標とする。

診療科 研修目標

救急

〔指導医〕

◎ 崎村 幸一郎

中田 智夫、牛島 隆二郎

◎は責任者

救急患者の初期治療は、専門的な科の枠を越えて、直ちに対応処置されるべき病態を有している。患者の全身又は局所の緊急的な治療を行いつつ、次の原因治療につなげる診療法を研修する。そのための救急医療の基本的な知識と即応性のある技術を修得する。

麻酔科

〔指導医〕

◎ 諸岡 浩明

橋口 英雄、小形 寛奈

◎は責任者

臨床医としてプライマリ・ケアに必要な診断法と治療法を身につけること、および患者を全人的視野からとらえる姿勢を形成すること、さらに、周術期全身管理を通して救急医療に必要な知識と技術を修得することを目的とする

産婦人科

〔指導医〕

◎ 藤 下 晃

河野 通晴、永田 幸、
宮下 紀子、松村 麻子

◎は責任者

産婦人科診療に必要な知識・技術・態度を修得するために、①周産期、②腫瘍、③生殖内分泌、④女性のヘルスケア（4分門）の基礎および臨床応用について学習することを目標とする。また、患者に対する精神ケアの重要性を把握しインフォームドコンセントの実際について修得する

【公式SNS】



【病院HP】



社会福祉法人^{恩賜財団} 済生会支部
済生会長崎病院

〒850-0003

長崎県長崎市片淵2丁目5番1号

TEL:095-826-9236

FAX:095-827-5657

<https://www.nsaisei.or.jp>

E-mail:jinji@nsaisei.or.jp

病院へのアクセス



交通について

- [路面電車]
- 諏訪神社下車、徒歩10分
- [バス]
- 上長崎小学校前下車、徒歩1分
 - 経済学部前下車、徒歩5分
 - 新大工町前下車、徒歩10分